

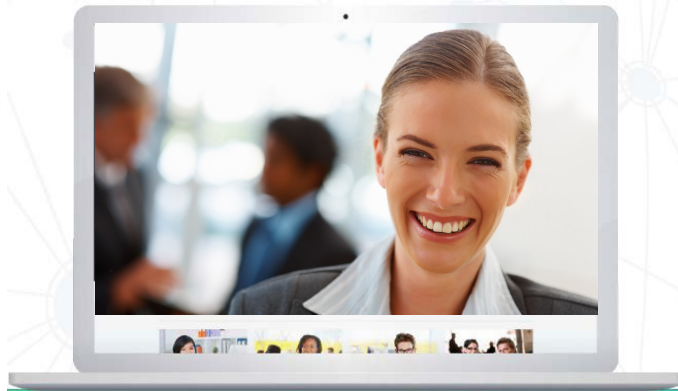
データシート

IBM Cloud Video Streaming Manager for Enterprise

従業員にセキュリティ機能が
充実したビデオ体験を提供する

IBM Cloud Video Streaming Manager for Enterprise

従業員にセキュリティ機能が充実したビデオ体験を提供します。IBM® Cloud Video Streaming Manager for Enterprise を使用すると、従業員がほぼどこにいても、タウンホールミーティングや研修や部内連絡を簡単に配信することができます。



メッセージを保護する

従業員が社内ビデオコンテンツを確実に閲覧できるようにします。Streaming Manager for Enterprise を使用すると、意図した相手先にコンテンツが確実に届くので、不安なく極秘情報を送信することができます。

- SSO (シングルサインオン) を利用して既存の企業ディレクトリを通じてビデオの安全性を確保する。
- Okta, OneLogin, Google Apps for Work などのSAML ベースの SSO プロバイダーとのターンキー統合。
- 電子メール検証を介した代替 2 段階認証。
- 自社イントラネットへの埋め込みが制限できるドメイン管理。

利用率の追跡

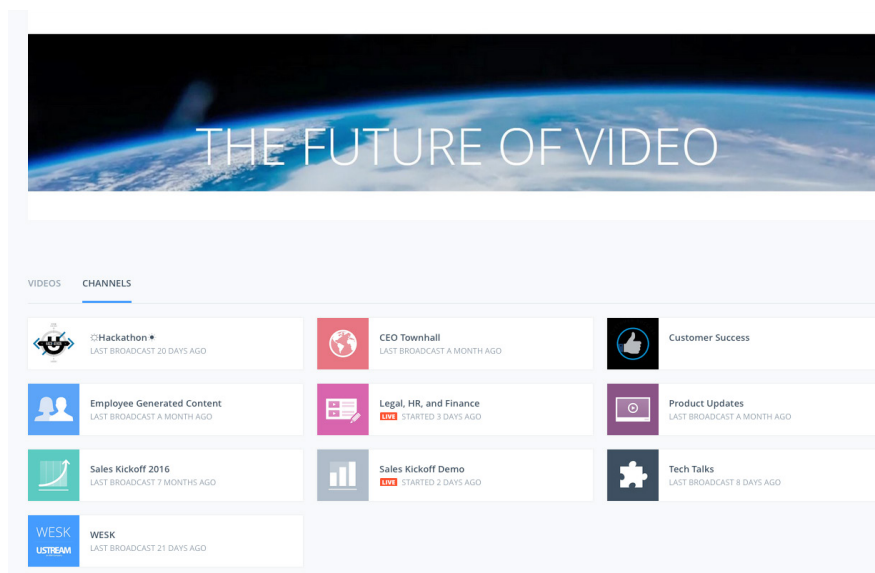
従業員がビデオアセットを利用して投資回収率 (RIO) について理解している状況を把握できます。誰がいつどの程度多くのコンテンツにアクセスしたか追跡できます。認証に使用されるメールアドレスを通じて、ユーザーごとにアセットが最後まで閲覧されたかどうかも追跡できます。

- コンプライアンス研修の目的で、視聴者ベースごとの利用率を追跡する。
- ビデオアセットの成功率を明らかにすべく、コンテンツのエンゲージメントを明確化する。
- ユーザーがコンテンツにいつアクセスしたか、また、どの程度閲覧されたかを確認する。
- ほぼリアルタイムでライブストリームのパフォーマンスを監視する。

スケーラブル

また、貴社ビジネスの規模に応じてビデオソリューションがスケーリングされます。Streaming Manager for Enterprise は広範なビジネスニーズに対応しており、地理上の位置や使用デバイスが異なる広範な視聴者に配信することができます。

- 組織内の異なるグループごとに個別のチャンネルを設定する。
- 安全に保護された方法で現場の従業員に配信できる。
- 貴社アカウントに複数の管理者を配置することができる。
- 各グループごとに適切なセキュリティレベルを割り当てる。
- 1つのチームから始めて、組織全体にスケールアップできる。
- オプションの IBM Cloud Video Enterprise Content Distribution Network を使用すると、コーポレートネットワークを渋滞させることなく、HD コンテンツを配信することができる。



セキュリティ機能が充実したビデオポータル

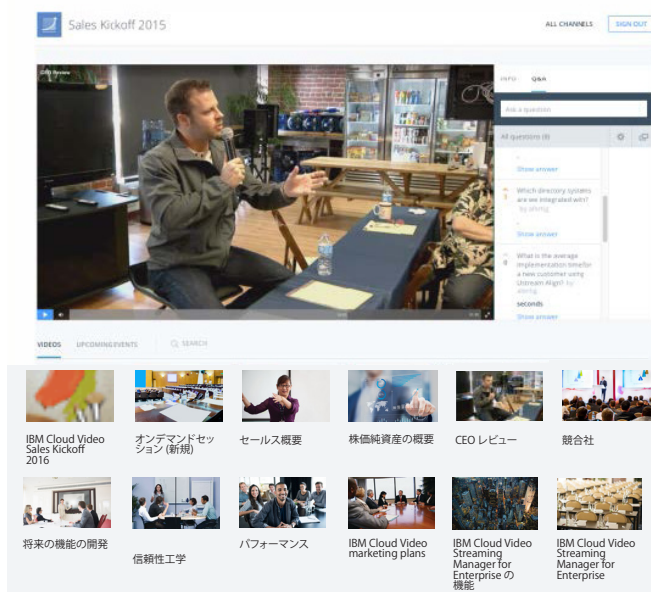
Streaming Manager for Enterprise Portal によって、ビデオコンテンツにセキュリティ機能が充実したブランディングされた送信先を作成して、ライブビデオとビデオオンデマンドの両方で、視聴者が簡単にビデオを検索してアクセスできるようになります。ビデオポータルへのコンテンツの移植や維持がシンプルになります。このポータルは、アイデンティティやアクセスの管理ソリューションやディレクトリシステムとの統合など、貴社で定義したアカウントセキュリティオプションと連動して、社内指定された従業員のみがビデオを閲覧できるようにします。

- クラウドホスティングを有効に利用する。セットアップ不要。
- 部下チームを教育して情報を提供するためのビデオをアップロードする。
- 今後予定されているイベントのスケジュールを見る。
- ビデオライブラリを検索して並べ替える。
- 見逃した可能性のある録画済ストリームを見つける。
- 確実に保護された状態で主要なパートナーやアドバイザーや代理店を追加する。
- 特定の従業員チームに制限する。

役割ベースの管理

確実にビデオチャンネルを管理する柔軟な管理役割を使用して、他の従業員が閲覧できるようにライブ配信する前にビデオコンテンツを確認する、マルチユーザー承認プロセスを生成します。オンデマンドアセットのライブストリーミング機能とクラウド編集機能を含む、2人以上の人物がビデオコンテンツの作成と管理に関与できるコラボレーションアプローチを活用します。

- 管理者の役割の異なる2人以上のユーザーを提供する。
- チャンネル管理者にスーパー管理タスクを委託する。
- チャンネル管理者を特定のチャンネルに制限する。
- 発表前のオンデマンドコンテンツをプレビューする。
- 複数の仲介役でライブイベントを管理する。



サンプルチャンネル

チャンネルを使用して組織内の特定の視聴者のみにビデオの配信先を絞り、自分のニーズや興味にあったコンテンツを見つけてそれにアクセスできるようにします。こうしたチャンネルでは、コンテンツを、Streaming Manager for Enterprise ビデオポータル体験の一環として分類することができます。

タウンホールチャンネル

通常、タウンホールチャンネルは、取締役専用のビデオ放送チャンネルです。通常、これを使用して、企業戦略を伝達したり、事業に関する最新情報を提供したり、従業員体験を拡張する一つの方法として情報提供・発奮・教育を行ないます。

人事チャンネル

人事チームは、専用チャンネルを用いて、手当や規則の変更や研修コンテンツの最新情報を提供することができます。ビデオは、手当に関する複雑なオプションを説明し、従業員に登録を方法を指導し、人事チームの仕事量を減らす上で優れた方法です。

セールスイネーブルメントチャンネル

セールスマンは、製品や価格や市場やケーススタディや競合社に関する最新情報を必要としています。専用のセールスイネーブルメントチャンネルを使用すると、1箇所で、ほぼあらゆる端末から、情報にアクセスして入手できます。

パートナーチャンネル

パートナーは、製品やサービスや価格変動に関する最新情報を必要としています。この情報はしばしば専有情報であるため、パートナーが簡単に見つけて利用できるように、パートナーチャンネルによってコンテンツがカスタマイズしやすくなっています。

カスタマーサービスチャンネル

カスタマーサービスチャンネルを構築すると、仕事量に影響する可能性がある製品やサービスに関する最新情報や今後の発売予定の情報を簡単に伝えることができます。サポートチームは、このチャンネルを使用して、顧客に関する重要な問題についての社内情報を共有することもできます。

マーケティングチャンネル

マーケティングチームは、チャンネルを使用して、全員に同じ情報が行き渡るように、市場や製品の最新情報、サクセスストーリー、競合社や市場に関するニュース、今後のキャンペーンやイニシアチブについての情報に関する社内パイプラインを構築することができます。

エンジニアリングチャンネル

エンジニアリングチャンネルを使用して、確実に保護された方法で、今後発売予定の製品やサービス、商品見本、概念実証、検討中のイニチアチブに関する社内情報を共有したり、新規オファリングのアイデアを募ることができます。

まとめ

Streaming Manager for Enterprise を使用すると、ビデオコンテンツの作成・整理・公表・アクセスの各プロセスを合理化できるように、特定の視聴者や組織部門にターゲットを絞ってビデオを制限することが可能になります。このポータルによって、セキュリティ機能が充実したビデオロケーションを1箇所にまとめ、コンテンツへのアクセスを簡素化し、貴社組織のコミュニケーションを改善することが可能となります。また、視聴者追跡を利用することで、ビデオの利用率を追跡し、成功率の高いコンテンツを決定し、規則遵守上の理由から従業員がアクセスできるコンテンツを検証することができます。

IBM Cloud Video

IBM Cloud Video では、世界中に、スケーラブルで信頼できるビデオストリーミングサービスを提供しています。IBM Cloud Video は、確実なビデオ機能や抜群のコグニティブ機能を組み合わせて、現在利用できる最も包括的なビデオオファリングを提供します。IBM Cloud Video の詳細については www.ibm.com/cloud/video にアクセスしてください。



© Copyright IBM Corporation 2017
IBM Corporation
Route 100
Somers, NY 10589

アメリカ合衆国にて制作
2017年1月

IBM、IBM のロゴ、ibm.com、Clearleap は、International Business Machines Corp. の登録商標で、世界中で多数の管轄区域で登録されています。他の製品名やサービス名は IBM または他の企業の商標である可能性があります。IBM の商標の最新リストは ibm.com/legal/copytrade.shtml の「著作権と商標の情報」でご覧いただけます。

本書に記載の情報は初版発行日の時点で最新ですが、IBM によって随時変更されることがあります。IBM が事業を展開しているすべての国で全部のオフラインが入手できるとは限りません。

本書の情報は、商品性、特定目的への適合性、権原、および非侵害についての保証および条件のすべてを含め、明示暗示を問わず、一切の保証なしに「現状まま」で提供されます。

IBM 製品は、製品提供の際に締結された契約の条件・条項に基づいて保証されます。

確実なセキュリティ実施に関する宣言文: IT システムセキュリティでは、貴社内外からの不正なアクセスに対する予防や検知や応答によるシステムや情報の保護が行なわれます。不正なアクセスによって、情報が改変・破壊・横領・不正使用され、その結果、他者に対する攻撃を含むシステムの破損や不正使用が発生することがあります。いかなる IT システムや IT 製品もまったく安全あるとは見なせません。また、どんな製品やサービスやセキュリティ対策も、単体では、不正使用や不正アクセスの防止に対して完全に効果を発揮することはありません。IBM のシステムや製品やサービスは、合法的な総合セキュリティアプローチの一部を成すよう設計され、必要に応じて追加操作手順が行なわれ、その効果を高めるべく他のシステムや製品やサービスが必要となる場合があります。IBM では、任意のシステムや製品やサービスが、いかなる当事者による有害な行動や非合法的な行動を受けるおそれがないこと、もしくは、それを受けないことを可能ならしめることを一切保証いたしません。